

特定外来生物 クビアカツヤカミキリ 警戒中！！

～発見時には情報提供をお願いします～

●クビアカツヤカミキリは、幼虫がサクラやウメ、モモ、スモモなどの樹木の中に入り込み、木の内部を食い荒らしてしまう**特定外来生物(※)**です。

●**山梨県では令和8年7月に発見されています。**

被害を広げないためには早期に発見、駆除することが重要です。

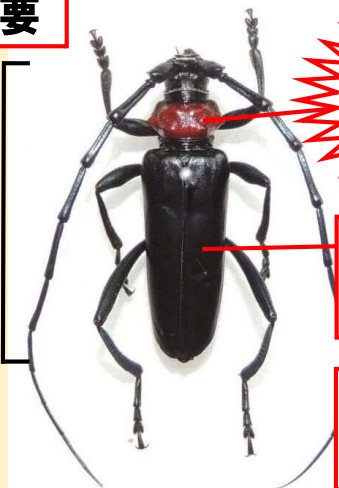
※特定外来生物:もともとその地域にいなかった生物であって、生態系、人の生命・身体、農林水産物へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものとして外来生物法で指定された生物



発見したら発見場所の市町村又は
県林務環境事務所までご連絡をお願いします

成虫の概要

体長
2.5cm～
4cm



胸部が赤い
一対のトゲ状
隆起

青みがかった
光沢のある黒

成虫は5月末
～8月に発生

特徴(フラス)

フラスとは、幼虫のフンと木くずが混ざったものです。



量が多く地表に降り積もるように
大量にたまることもある



- ・夏から秋に見られる
- ・2～5mmほどの太さ
- ・明るいオレンジから褐色

被害木の例



幼虫に
食い荒らされた木



成虫は幹に
細長い穴を
あけて出てくる

画像：埼玉県環境科学国際センター

山梨県 森林環境部 自然共生推進課

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1

TEL:055-223-1520 FAX:055-223-1781

日本での発生状況



もともと日本にいなかった外来のカミキリムシですが、平成24年に愛知県で確認されて以来、急速に分布を拡大しています。

令和8年4月末までに17都府県で発生が確認されています。

山梨県では令和8年7月に初確認されました。

クビアカツヤカミキリを見つけたら・・・

- ・探す手がかりは、**成虫またはフラス**です。
- ・発見した場所の**市町村または県林務環境事務所**までご連絡ください。
- ・クビアカツヤカミキリは、外来生物法で生きたまま持ち運ぶことは禁止されています。
- ・土地管理者におかれましては成虫を発見したら**殺虫剤、踏み潰す等で駆除をお願いします。**
- ・クビアカツヤカミキリの成虫・フラスと疑わしいものを発見した場合、可能な範囲で**写真を撮るなどして情報提供**をお願いします。

防除方法

- ①ネット巻き(5～8月)
羽化して樹木から出てきた成虫を捕殺
- ②薬剤処理(4～9月)
フラスが出ている穴に薬剤を注入して
幼虫を駆除
- ③伐倒処分(11～3月)
幼虫が休眠している時期に樹木ごと処分



発見時連絡先

中北林務環境事務所

0551-23-3087

峡東林務環境事務所

0553-20-2720

峡南林務環境事務所

055-240-4140

富士・東部林務環境事務所

0554-45-7810

発見した場所の市町村又は上記県林務環境事務所(環境・エネルギー課)までご連絡ください。

※農地で発見した場合は県農務事務所までご連絡ください。